

寺報

No.693

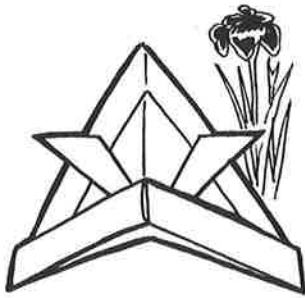
令和7年5月

蓮華寺
發行

御聖訓

劔つるぎなんでも進すすまざる人ひとの為ためには
用もちふる事なし、法華經の劔は信心しんじん
のけなげなる人こそ用ふる事なれ
鬼おにに金棒かなぼうたるべ
し。

『經王殿御返事』



(解説)

「だんだんよくなる法華の太鼓」という言葉があります。

これは「段々良く成る」に、太鼓の「良く鳴る」をかけた言葉遊びであります。

つまり皆様がお題目を唱える時にたたくあの太鼓の音、あの元氣よく心まで響き、勇氣を与えてくれる音が、世の中を明るくしてくれろという意味です。我々の人生、なかなか思うようにいかず、つまずきあるいはくじける事もあるでしょう。

しかし、我々日蓮宗の信者はそこで諦めず、前向きに生きていかなければならないのです。

その為には法華經の教えをしつかり信じ、自らの生活の中に取り組んでいかなければなりません。

日蓮大聖人の「劔も勇氣のない人が持てば、何の役にも立たないように、法華經という劔も、信心深い人が用いてこそ、初めてその用に立つものである。

これこそが鬼に金棒といわれるゆえである。」とのお言葉のように、どうか皆様も法華經を信じ、大聖人の生き方を学び、そして強く自らの人生の道を歩んでいこうではありませんか。

五月十三日(火)

午後一時より

於…大本堂

え たん こう ご そん しゃく
会 誕 降 御 尊 釈
 (花まつり)



*お釈迦様のお誕生日、甘茶の日です。
 *皆様で、甘茶をかけお祝いしましょう。
 *お供物も受け付けています。

なぜ甘茶なの？

『釈尊御降誕会』は、お釈迦様がお生まれになった
 ルンビニーの花園を再現して、花御堂を美しく飾り、
 その中央に誕生仏お姿のお釈迦様の立像を安置し、そ
 の頭にひしゃくで甘茶を注ぎ掛ける処から『花まつ
 り』ともいわれていきます。

甘茶を注ぎ掛ける理由は、お生まれになったばかりの
 お釈迦様が天と地を指さして、

『天上天下唯我独尊』(天にも地にもただ我一人のみ尊
 し、そして尊い者となり苦しむ人々を救おう)と声高
 らかに叫んだ時に、天に住む九匹の『龍王』が感激の
 余り、天から清らかな香水を降らし、お釈迦様に産湯
 を使わせたというお話から来ています。

我が国でも、昔は実際に五色の香水を作り注いでいた
 ようですが、江戸時代頃からは甘茶を掛ける習慣に変
 わって来たようです。

甘茶は、漢方薬の『アマチャ』の葉を煎じたもので、
 これを飲むと健康になるといわれる処から、お釈迦様
 にあやかり、息災延命を願い使用したものとわられて
 います。

檀信徒研修会のお知らせ

☆五月二十四日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦 (三十分) と唱題行 (三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場 所…小本堂「イス席です」

持参品…聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃
 さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱え
 ましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や
 友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各
 自の目標に向い頑張って修行して下さい。

お題目の功德

「水子さん」のご供養

当山境内地に、今年も新たに『水子観音様』専用の
 「風車」をご供養の為に上げ下さい。

一体七〇〇円で、葉の部分に【供養文】が書き入れる
 事が出来ますので、ご希望の方は事務所までお申し付
 け下さい。

また、当山では、この世に生を受ける事なく仏様の世
 界に旅立たれました水子さん、また早くに亡くなられ
 た子供さんのご供養の為に、境内に『観音様』を安置
 しています。

この『観音様』の台座の中には、施主の名前を書き入
 れました「法名紙」が奉納出来ます。

「水子」「子供」の戒名や俗名、また「水子一切の霊」
 などを書き入れてもらい、奉納します。

★本堂で法要を行い焼香をし、「法名紙」を観音像の
 中に奉納する場合。 【二万円】

★観音像の前で直接ご供養し、「法名紙」を奉納する
 場合。 【二万円】

詳しくは当山にお問い合わせ下さい。



『角田堯現』上人

日蓮宗教師となる

当山子弟の『角田堯現』上人が、此の度【身延山】で行われました【日蓮宗信行道場】三十五日間の修行を無事終了し、日蓮宗教師に任命されました。

その際、『準講師』という僧階が授与され、これで正式な日蓮宗の僧侶となる事が出来ました。

今後、蓮華寺の為、また檀信徒の皆様の為に活躍してもらいたいのですが、現在まだ日蓮宗の大学【立正大学】の四年生ですので、あと一年勉学に励まなければなりません。

それでも、『お盆』などの行事はお手伝いが出来ますので、これからもよろしくお願い致します。



日蓮宗の僧階

大僧正・権大僧正・僧正
権僧正・大僧都・権大僧都
僧都・権僧都・大講師
権大講師・講師・準講師 以上

龍神様と七面様

昔より、『龍神様』は我々に不可欠な水をつかさどり、更に大地に潤いをもたらす豊穰の神として信仰されてきました。

そして、そのお姿は水の象徴であります川がへびのよう曲がりくねっていく、いわゆる蛇行から『龍』を想像し、そして神格化したものと考えられています。そして、当山にお祀りされています『龍神様』も昭和二十年七月の青森空襲の時に、そのお力を現わしました。

それは、空襲の数日前から当山の庭の池の水が突然あふれ出すという不思議な現象を起こしたのです。

これは、何かの前兆ではないかと思っていた矢先、青

森市はアメリカ軍から空襲に襲われ、市内は一面焼け野原となっていました。

当然、蓮華寺もいくつかの焼夷弾が当たり、火の手が上がる状態でしたが、当時の第二十七世住職・角田堯承上人初め数名で、その延焼を防ぐ為に、このあふれた池の水を汲んでは掛け汲んでは掛けて、ついに鎮火させ蓮華寺を火災から救ったのでした。

この奇跡は、当山の『龍神様』の多大なるお力によるものだとして、その後、池には『龍神様』のお堂とお姿をお祀りし、毎年ご法楽をして、今日に至っているのです。

しかし、こういう素晴らしいお力を持つ『龍神様』もそのお力が偉大過ぎる為に、粗末に扱ったり、また大切に祀りしなかつたりしますと、容赦なく大雨・大洪水などをもたらし、自然を破壊してしまうという怖い面も備えています。

ですから、我々は『龍神様』を大切にお祀りし、そのお力を戴いていかなければいけません。

また、同じく日蓮宗の守護神の『七面大天女』（身延山の鬼門を抑えてお山を護る神）も『龍神様』の化身といわれ、日蓮大聖人のお弟子【日朗上人】が初めて登られた永仁五年（一二九七）九月十九日をもって七面山開創の日としています。

『位牌壇』の募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎最近では家庭の事情から、家族が仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を安置し、仏壇の代わりにお寺に参拝する方達も増えてきています。

◎家族が仕事の関係で、誰も地元に住めない為に、『位牌壇』に位牌を預かり、青森に帰省した時にお参りをする方も増えてきています。

◎仏様のご命日に当たる日に、旅行などで不在の時や高齢で家庭で追膳が作れない時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎一年以上使用の方で、上位の位牌壇を希望する方は数がある限り無料でお譲り致します。（維持費は変わります）三席から特席に上がる事も可能です。

蓮華寺 TEL七七六―五八四〇

五月の行事

一 日(木) 盛運祈願会

午後一時より

- ・毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱え、感謝の気持ちを込めてお守りを交換しましょう。
- ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(火) 日蓮大聖人のご命日

午後一時より

- ・お経 (如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み))
- ・如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)

・どなた様も、大聖人への御報恩を忘れずに参拝しお題目とお経を唱えましょう。

十三日(火) 釈尊降誕会【花まつり】午後一時より

十九日(月) 龍神様・七面様大祭 午後一時より

二十四日(土) 檀信徒研修会【唱題行】午後七時より

☆奉仕のお知らせ

十三日(火) 花まつりの準備とお手伝い

- ◎教宣部男女・・・午前十一時より
- ※『花まつり』の行事は、大本堂で十三日講のお勤めの中で執り行われています。
- どうぞ、ご参拝かたがたお手伝いをよろしくお願い致します。

十九日(月) 龍神様・七面様大祭の準備とお手伝い

- ◎教宣部男女・・・午前十時より
- ※当山客殿に於きまして、祭壇を設けて、行事を執り行いますので、お手伝いをよろしくお願い致します。

教宣部長・杉淵昌三

☆十三日(日蓮大聖人の月命日)の

お勤めには必ず参拝しましょう!

毎月十三日 午後一時より

大切なお題目受持

『朝のお勤め』のススメ

当山では、毎朝午前六時半より『朝勤会』を執り行っています。

時間は、大本堂く小本堂く位牌堂を回りまして、約一時間十分となっています。

聖典【お経本】を最初から順序よく読んでいきますので、どうぞ一緒に読み下さい。

初めは難しいでしょうが、繰り返し事で段々慣れてくると思われますので、一生懸命頑張ってみましょう。

また、朝勤会に毎月の『祈願・供養』を申し込まれている方には、特に朝参りをお勧め致します。

唯、お寺にお願いするだけではなく、少しでも時間を見つけてまして、自らが参拝する事が大事なのです。

そしてご自宅では中々出せない大きな声で、「法華経」「懺悔文」「お題目」を唱え、祈願・供養などの願い事が早く成就するようにと、集中してご祈念して下さい。

イス席で行っています。

②朝の『祈願・供養』・・・一件、一ヶ月三千元です。

『霊断』

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導します。

なお、宗旨宗派は問いません。

必ずご予約下さい。(☎七七六―五八四〇)まで

【二件・原則として三千元となります】

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、当山住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『提灯』募集!

当山で『鬼子母神大祭』『御会式』『お正月』に下げます『提灯』(トロー)を募集しています。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千元ですので、初年度のみ一万円となります。

龍神様・七面様大祭

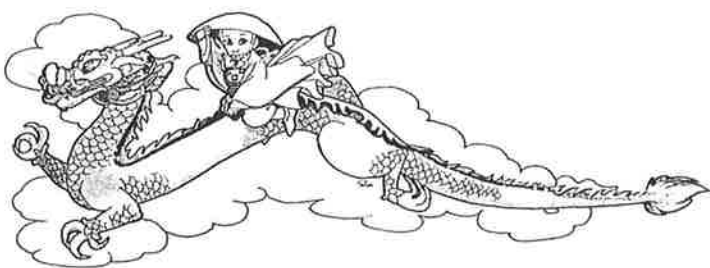
五月十九日（月）

午後一時より

於：蓮華寺客殿



七面天女



- * 龍神様・七面様の御神体・掛軸ごしんたいの御法楽（二千円）
- * 一般御法楽（千円）、祈願（八百円）
- * お供物も受け付けています。
- * 祈願・御法楽をお申込みの方にお札ふだを差上げます。